



1. アナログ・ボリューム・コントロール (電源ON/OFFスイッチ付き)

電源スイッチとボリューム調整つまみ

iTubeは、2通りの使い方が可能です：

※チューブ・バッファー

※アナログ・ボリューム・コントロール付き
チューブ・プリアンプ

注意：iTube をダイレクトパススルーの“チューブ・バッファー”として使う場合、アナログ・ボリューム・コントロールは無効になります。

設定の詳細は、「4. 底面のマイクロスイッチ」をご覧ください。

2. デジタル・アンティドート・プラス

※ON→[・]

※OFF→[-]

多くのデジタル・ソースは、“きつく”聞こえたり“角張って”聞こえたりしますが、これが聴く人を疲れさせるのです。デジタル・アンティドート・プラスは、“デジタル的な響き”の信号を拾い上げて“アナログ的な響き”の信号に変え、長時間音楽を楽しむことを可能にする特許回路です。

3. 3Dホログラフィック・サウンド・システム (OFF/LOW/HIGH)

3D ホログラフィック・サウンド・システムは、さまざまなタイプのスピーカーの外側に広がる音場を拡張します。これによって、音場の高さや奥行きが改善され、聴く喜びが一層増すのです。

- ・ (LOW) 典型的なスピーカー配置
(通常のリビングルームでのHiFiスピーカーなど)
- (OFF) ダイレクト(回路をパスします)
- ・・・ (HIGH) 左右のスピーカーの間隔が非常に狭い配置
(コンピューターの両脇に置かれたデスクトップ・スピーカーなど)

ヒント：iTubeの3Dシステムは、スピーカー用に特別に最適化された3Dホログラフィック・サウンド・マトリックスです。この特徴によって、音場の焦点と明晰性が改善されますので、あらゆるスピーカーに有効です。ヘッドフォンアンプのiCANも同種のシステムを搭載していますが、それはヘッドフォン用に最適化された、異なるタイプの3Dシステムです。もしもiTubeとiCANを組み合わせる場合は、iTubeの3DシステムをOFF〔-〕にして、iCANの3Dシステムを使ってください。

4. 底面のマイクロスイッチ

iTubeの底面にあるマイクロスイッチを、チューブ・バッファ（ゲイン0dBまたは6dB）またはプリアンプ（ゲイン0dBまたは6dB）にセットしてください。

4タイプの設定が可能です。

※Buffer（ゲイン0dB）

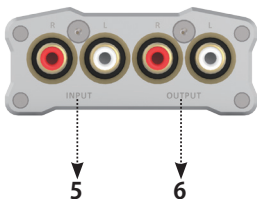
※Buffer（ゲイン6dB）

※Preamp（ゲイン0dB）

※Preamp（ゲイン6dB）

バッファ Buffer として使う時は、アナログ・ボリューム・コントロールが無効になります。プリアンプ Preamp として使う時は、アナログ・ボリューム・コントロールが有効になります。

6dBはゲインが低めの機器（デジタル・オーディオ・プレーヤーなど）をソース機器として使用するときの設定してください。通常は0dBでお使いください。



5. RCAインプット

6. RCAアウトプット



準備完了



クラスA・チューブステートON



電源スイッチON

仕様

入力電圧：AC100 50/60Hz

消費電力：7W

入力インピーダンス：1MΩダイレクト・チューブ・バッファ

100kΩボリューム制御式管球式プリアンプ

出力インピーダンス：<1Ω／補正出力インピーダンス：<160Ω

サイズ：175(L)×67(W)×28(H)mm／重量：233g

保証期間：1年（保証書または日本国内での購入が証明できるものが必要）

製品についてのご質問・ご購入者様サポート

株式会社オフィスENZO

千葉県柏市南逆井2-2-28 e-mail: ifi.audio.jp@gmail.com

電話 050-3631-5749

輸入・発売元：

有限会社トップウイング

東京都東村山市栄町1-10-2-1102 e-mail: info@twctokyo.co.jp

電話 042-392-8319

iFiオーディオ情報WEBページ <http://ifi-audio.jp/>